



「出水の小川」のチビッコたち（平成9年初夏）

# 夏

## 出水の小川

チビッコたちいらっしやい

前田 稔

京都御苑ニュースも九十号になりました。昭和五十九年に創刊号がだされて二十二年になります。百号は再来年の十二月一日の冬号です。

この号では「出水の小川」をとりあげました。夏の京都御苑を一番楽しんでるのは、出水の小川のチビッコたちでしょう。出水の小川は二十五年前に、幼児やお母さんたちに、水の流れとふれあいを楽しんでもらおうと、当時の環境庁京都御苑管理事務所が造成したものです。

私は、自転車での苑内パトロールでは、先ずこの小川に立ち寄ることにしています。お天気がよければいつも、お昼前の十一時頃が最も賑わっているようです。パンツ一枚になった子供たちの歓声がいつぱいです。中にはまだおぼつかない足取りの、パンツをふくらませた幼児もいます。フルチンの子も見かけます。水を怖がって泣き出す子もいます。一緒になつて流れに入ったり、木陰で我が子を見守っている若いお母さんたち。素足に触れる冷たい流れや土や草の感触が心地良さそうです。

### 自然保護憲章

自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう。  
自然に学び、自然の調和をそこなわぬようにしよう。  
美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう。

「出水の小川」は昭和五十六年に、疏水から引いた御所水道を利用して整備されました。人工水路の幅二、六メートル、延長百メートル、深さ十センチメートル程度の浅い小川が木陰の間を流れてゆきます。水の流れと遊ぶための親水空間として、その頃はワタカの幼魚やモツゴ等の小魚や水生昆虫、サワガニやカワエビ、ホタルも子供たちを楽しませてくれたそうです。

その後、平成四年に御所水道が遮断されて八十年に及ぶ歴史を閉



何がいるかな。すべらないように。（平成18年早春）



じざるをえなくなり、引いた御所水道を利用した。現在は、出水広場の隅に掘られた井戸からポンプアップして地下水を利用して、地下水を循環濾過したうえで流しています。

今も水辺では様々な生き物を見ることが出来ます。アメンボ、ザリガニ、ミミズは勿論、小魚も、幸いなことにホタルも姿を見せるようになりました。セリやクレソンも繁殖し、キシノウエが植えられ、周辺には八重の里桜を主とする樹々も植栽され、京都御苑自然教室のコースにも組み込まれています。うまく出くわすとカラスやドバト、セキレイ、そしてスズメたちの水浴びも楽しめます。でも楽しめないのは、ワン公たちの闘入です。飼主さんには我が子同様に可愛いペットでしょうが、見知らぬ子供たちには迷惑になることもあるでしょう。大きな犬だとおつかないし、水に浸れば汚れも気になります。ワン公たちの冷たい水に浸かりたい気持ちにはわかりませんが、環境省の公園管理事務所では、御苑の自然とのふれあいを推進しようと市内の保育園や幼稚園の子供たちに毎月初め、ハガキで「季節のたより」を郵送し

# 京都御苑ニュース



発行人  
〒602-0881 京都市上京区  
京都御苑3番地  
☎075-211-6364  
財団法人 国民公園協会  
京都御苑 前田 稔  
編集  
株白川書院  
監修  
環境省京都御苑管理事務所  
本紙は100%再生紙を使用しています。

リガニ、ミミズは勿論、小魚も、幸いなことにホタルも姿を見せるようになりました。セリやクレソンも繁殖し、キシノウエが植えられ、周辺には八重の里桜を主とする樹々も植栽され、京都御苑自然教室のコースにも組み込まれています。うまく出くわすとカラスやドバト、セキレイ、そしてスズメたちの水浴びも楽しめます。でも楽しめないのは、ワン公たちの闘入です。飼主さんには我が子同様に可愛いペットでしょうが、見知らぬ子供たちには迷惑になることもあるでしょう。大きな犬だとおつかないし、水に浸れば汚れも気になります。ワン公たちの冷たい水に浸かりたい気持ちにはわかりませんが、環境省の公園管理事務所では、御苑の自然とのふれあいを推進しようと市内の保育園や幼稚園の子供たちに毎月初め、ハガキで「季節のたより」を郵送し

## 京都御苑の夏の自然にふれあおう

環境省京都御苑管理事務所と(財)国民公園協会京都御苑では、今年も京都御苑の夏の自然にふれあってもらうためのイベントを開催します。夏休みの宿題の参考や思い出作りにぜひ参加してみてください。どのイベントもどなたでも無料で参加できます。

◇夏の自然教室  
日時 7月16日(日) 9:30~12:00  
集合場所 富小路休憩所前  
内容 植物、野鳥、キノコ、昆虫それぞれの専門の先生方の解説を聞きながら御苑を歩きます。  
協力 京都自然観察学習会

◇セミの羽化観察会  
日時 7月29日(土) 19:00~21:00  
定員 先着30家族まで  
集合場所 堺町休憩所前  
協力 夜にセミの幼虫が地中から出てきて羽化するまでの神秘的な様子を観察します。  
申し込み方法 7月24日までにハガキに参加者全員の名前、年齢、代表者の住所、電話番号、FAX番号(ある方)を必ずお書きのうえ、京都御苑管理事務所に申し込んで下さい。結果はFAXで(ない方はハガキで)お知らせします。  
協力 京都森林インストラクター会



羽化直後のセミ

◇トンボ池一般公開・観察会  
日時 8月6日(日)~8月12日(土) 9:30~11:30  
内容 普段は自然保護と危険防止のため閉鎖しているトンボ池を一般公開します。初日(8月6日)は、講師の先生に来て頂きトンボ池に生息する生き物を観察し、解説していただきます。  
協力 京都自然教室

て、季節ごとの自然の変化や楽しみ方をお知らせしています。出水の小川では、夏の水遊びだけでなくマツカサ、ドングリ集めも楽しめます。そのたよりが市内五十八カ所の保育園、幼稚園の園児たちに届いて、年間二万人ものチビッコたち

ちが来園しているそうです。ほとんどがリビーターの「常連さん」です。子供達が安全に、お母さんたちが安心して、水遊びを楽しめるように、ガラスや金属片(空き缶のプルトップなど)を除去し、すべりやすい、ぬるぬるの深類や

ゴミ、落葉落枝を取り去って、かつ水生昆虫たち生き物の生息に配慮しながら、やりすぎないように注意して、「出水の小川清掃マニユアル」に則って管理事務所のおじさんやおばさんが定期的に小川を清掃しています。作業中のおじさんやおば

さんを見かけたら声をかけてあげてください。きっと作業のはげみになることと思います。これからはもっと、子供たちの良き思い出となる「出水の小川」でありつづけることを願っております。  
(財)国民公園協会  
京都御苑常務理事

問い合わせ 環境省京都御苑管理事務所 TEL.075(211)6348 〒602-0881 京都市上京区京都御苑3  
(財)国民公園協会京都御苑 TEL.075(211)6364 〒602-0881 京都市上京区京都御苑3

### 催事案内

#### ■平成18年京都御苑自然教室

一般市民を対象とした自然教室を本年度は、下記の通り予定しています。都市の中では貴重な緑をもつ御苑で夏の自然を観察しましょう。

#### 夏の自然教室 “夏の御苑にふれよう”

7月16日(日) 9:30~12:00

- 主催** 環境省京都御苑管理事務所  
(財)国民公園協会京都御苑
- 指導** 京都自然観察学習会の先生方に指導して頂きます。
- 内容** 夏の御苑にはどんな草花やキノコがあり、どんな虫や鳥たちが生活しているか観察します。
- 集合場所** 京都御苑富小路休憩所前  
(上京区京都御苑富小路口)
- 受付方法** 当日、集合場所に9:30頃までにお集まり下さい。
- 参加費** 無料
- 問い合わせ** 一面参照
- その他** 筆記用具をご持参下さい。手持ちのルーペ、双眼鏡、図鑑などの観察用具があればご持参下さい。

#### \*以降の自然教室予定

- 秋“秋の御苑にふれよう”  
11月26日(日) 9:30~12:00  
集合場所 石薬師御門前
- 冬“冬の御苑にふれよう”  
平成19年1月21日(日) 9:30~12:00  
集合場所 中立売北休憩所前

### 会員募集

財団法人国民公園協会 京都御苑

- 普通会員 1,000円以上
- 賛助会員(会社・団体) 10,000円以上

#### 会員の特典

1. 葵祭、時代祭の招待券を進呈します。  
(ただし、普通会員は会費4,000円以上の方に限りです。)
2. 本会発行物をそのつど送付します。

#### ■申し込み、問い合わせ先

(財)国民公園協会 京都御苑  
住所 〒602-0881 京都市上京区京都御苑内  
TEL 075(211)6364

### 御苑の花暦

| 和名    | 開花期    | 主に見られる場所                   |
|-------|--------|----------------------------|
| キショウブ | 5月~6月  | 出水の小川                      |
| アベリア  | 5月~11月 | 大宮・仙洞御所<br>東側散策道沿い         |
| サルズベリ | 7月~9月  | 間ノ町口内、九条池周辺<br>建礼門前、寺町御門、等 |



御苑の風景 ◆「九条池とサルズベリ」



観察にもってこいの間之町口のサルズベリ

夏の御苑を訪れると、木陰でのんびり涼んでいる人や、出水の小川で水遊びにはしゃいでいる子供たちの姿に出会います。この御苑の夏を彩るのはなんと、いつもサルズベリです。日本には自生していない植物で、そのふるさと中国南部の暖かい地域のため、真夏の暑い日差しが大好きです。江戸時代以前に渡来した植物ですが、地球温暖化のせいかな近頃とても元気です。

サルズベリの名の由来は、樹皮が薄く剥げ落ち、淡赤褐色の滑らかな木肌が現れることにより、寺院には沙羅双樹の代用品としてナツツバキがよく植



えられていますが、これに樹皮の似ているサルズベリもみられます。春遅く芽吹き、秋早くに落葉しますが、成長は旺盛で、若木では二メートル以上も伸びることがあります。しかし、その反面カイガラムシがついて、すず病にかかったり、イラガがつきやすく観察には注意が必要です。枝先にあふれんばかりに咲き誇る花は直径三〜四センチメートル、御苑のサルズベリはピンク色ですが、近頃、白花や淡紫色、紫紅色、濃紅色の園芸品種もみられます。この花は複雑な形ですが、手にさわりますが、手にとって見ると意外と単純な形をしています。ガクは六つに裂けていて、その裂け目の間から六枚ときには七枚の花弁が突き出ています。

花弁は緑が縮れて脈打ち、爪と呼ばれる細くて長い柄があります。このため、花の形が複雑に見えるのです。雄しべは三十六〜四十二本ありますが、外側の六本は長くは短く、内側のものは短く、黄色です。「百日紅」の名のように、七月下旬頃から咲き始め、九月下旬頃まで咲き続けます。ひとつの花の寿命は短いですが、伸長した枝先に次々と花序をつけ、それぞれ下から、長い花期になります。

サルズベリは夏の御苑の観察会には欠かせないもののひとつです。が、個体ごとに開花期が微妙にずれています。七月中旬に、富小路グランドの西南角のサルズベリが咲き始め、ついで、九条池と拾翠亭や寺町御門のサルズベリも咲き始めます。八月に入るとようやく間之町口のサルズベリが咲き始めますが、建礼門前の木はまだ蕾で、八月中旬に咲きはじめます。九月中旬にもなる少しづつ開花の終わる個体が目につきます。

間之町口のサルズベリは大きく立派な木ですが、御苑内の他の木に比べて咲き始めが遅いようです。このため、開花していない木を前にして夏の観察会を行なったこともありました。

京都御苑のほぼ西北のすみ、宮内庁京都事務所の裏側に井戸とよばれる井戸があります。もともと京都の名水としても知られています。



京都御苑のほぼ西北のすみ、宮内庁京都事務所の裏側に井戸とよばれる井戸があります。もともと京都の名水としても知られています。して知られた井戸でしたが水が涸れてしまい、現在の井戸は、一九九六年に近くで掘りなおしたものだそうです。

### 井 (水事情)

伊東 宗裕

サルズベリは新梢の先端に花序をつけるため、落葉期に強く刈り込んで、よく開花します。原産国の中国では禁裏に植えられる花(京都自然観察学習会)

木だったことから、京都御苑内にもかなり多くサルズベリが植えられています。この人來ても折らなかなはづ鳴くあがたの井戸(京都自然観察学習会)

この地は明治維新以前は一条家の邸宅にあたり、一般には井戸を見ることができなかつたはずなのに、江戸時代の京都ガイドブックにはどれも井戸をとりあげています。ひよつとしたら、しかるべき人には公開していたのかもしれない。

歌集)は、江戸時代のガイドブックによく引用されました。この「あがたの井戸」が京都御苑内の井戸かどうかはわかりません。極端に言えば歌よみは井戸がどこにあるとかまわらない、井戸の名が生み出すイメージが大切だったのでしよう。ここでは都人がはるばる出かける草ぶかい土地の井戸のイメージです。

古い歌にはこの井戸を詠んだものがあり、橋、公平女の「宮人來ても折らなかなはづ鳴くあがたの井戸」(京都自然観察学習会)

江戸時代になり、この地に一条家の邸宅が築かれました。京都御所のまわりに建てられた公家屋敷のひとつで、おそろしく古歌のイメージにあわせて、一条家では邸内の井戸を修復したのではないでしようか。そして和歌の古跡としてふたたび人に知られるようになったようです。

担当課長)